



初等部だより 第1号

鎌倉女子大学初等部
平成25年4月5日

ご進級おめでとうございます！

部長 松本 安博

春の光に包まれ校庭の緑が、一段と鮮やかに映える中、元気な子どもたちの声が初等部に戻ってまいりました。

お子さんのご進級、誠にありがとうございます。

この春の異動で、これまで初等部の教育活動の充実と発展に多大なご尽力をくださいました 鈴木 洋部長先生、木村美之次長先生をはじめ、7名の職員の方々のご勇退・ご退職・ご転任されました。そして、新たに次の5名の職員が着任いたしました。

教諭 大村 文彦 先生（5年担任）
教諭 設楽 拓也 先生（音楽専科）
教諭 芳賀 都子 先生（1年副担任）
講師 岩本 花織 先生（図書専科）
講師 加島加奈絵 先生（体育専科）
講師 ティア・ケイ・ヘイグッド

「第一回保護者会」で紹介をさせていただく予定にしておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、この度、部長代理を務めてまいりました私が、初等部長を拝命いたしました。保護者の皆様方には、昨年4月よりいろいろな場でお見知りいただいておりますが、改めましてよろしくお願い申し上げます。

私は今年度のスタートに当たり、新鮮な気持ちで勢ぞろいした職員に、今年度の「指導体制」や「指導の重点」など、初等部の教育ビジョン「平成25年度初等部経営計画」を示しました。そして、鈴木部長先生を先頭にこれまで永年にわたって積み重ねられてきました「信頼」と「実績」を礎に、「感謝と奉仕に生きる人づくり」の具現化への思いを伝えました。

各ご家庭におかれましては、この初等部だよりを持ち帰ったお子さんから、ワクワクド

キドキ今日の始業式で出会った新しい担任や着任した職員のこと、学年によっては新しい友だちや学級のことなど、いろいろなことが話題になっているのではないかと思います。

私は、今日の始業式で2つの話をしました。一つは、家族はもとより周りの人に感謝の気持ちをもって成長をしていってほしいということです。そして、「成長するということは、からだが大きくなり、自らのことは自らで少しずつできるようになることはもちろんですが、自らがやっていること、言っていることを自ら振り返ることができるようになることでもあります。」と付け加えました。もう一つは、一年に一度この4月には、「何を求めて、どんな人として成長していくために初等部の門を叩いたのか、また入学してきたのか、そのことについて家族とも話し合い、新しい学年のめあてをもちましょ。」ということです。一人ひとりが自らの成長にとって、大切なしっかりとしためあてをもつことを願っています。

私たち職員も今一度、建学の精神を柱にした「経営計画」の共有化を図り、「豊かな心」と「確かな学力」、「健やかな体」を兼ね備えた品位ある初等部生の育成への道筋を、見定めてまいりたいと考えております。今年度もこれまで同様に、何卒ご理解とご支援のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。

